

<別紙1>

第三者評価結果報告書

①第三者評価機関名

株式会社R-CORPORATION

②施設・事業所情報

名称：ニチイキッズ湘南鵜沼保育園	種別：認可保育所
代表者氏名：佐藤 香織	定員（利用人数）：64(71)名
所在地：〒251-0028 藤沢市本鵜沼3丁目12-33 ベルプラザ1F	
TEL：0466-38-6261	
ホームページ： https://www.nichiikids.net/nursery/shonankugenuma/	
【施設・事業所の概要】	
開設年月日：2019年04月01日	
経営法人・設置主体（法人名等）：株式会社ニチイ学館	
職員数	常勤職員：12名 非常勤職員：9名
専門職員	（専門職の名称）：名
	保育士：17名 看護師：1名
	調理師(栄養士)：2名
施設・設備 の概要	（居室数）
	居室：0歳児室 設備：厨房
	居室：1歳児室 設備：事務室兼医務室
	居室：2歳児室 設備：面談室兼休憩室
	居室：3.4.5歳児室 設備：更衣室
	設備：調乳室
	設備：子ども用トイレ 設備：テラス

③理念・基本方針

<保育理念>

おもいっきり遊ぶ。 おもいっきり学ぶ。

<基本方針>

日々の遊びや学びの中で心と身体の成長を促し、創造力や自己表現力を引き出し、視野を広げ、「やさしく、つよく生き抜く力」を育みます。

<保育目標>

1. すくすく育つ・・・健全な心と健康な身体
2. わくわく遊ぶ・・・積極的に遊ぶ好奇心 豊かな創造力と自己表現
3. いきいき過ごす・・・自ら考え行動する自発力 地域で育む思いやりと広い視野

④施設・事業所の特徴的な取組

<ニチイキッズ湘南鵜沼保育園の特徴的な取組> （基本情報 I-3 の記載事項）

●音楽プログラム

- 英語プログラム
- おもいっきり給食
- STEAM保育

⑤第三者評価の受審状況

評価実施期間	2023年10月26日（契約日） ～ 2024年04月02日（評価結果確定日）
受審回数（前回の受審時期）	初回（年度）

⑥総評

【ニチキッズ湘南鵠沼保育園の概要】

●ニチキッズ湘南鵠沼保育園は、株式会社ニチイ学館（以下、法人という。）が、平成31年4月1日に開設した認可保育所です。法人は、「社業の発展を通して豊かな人間生活の向上に貢献する」を経営理念とし、昭和43年の創業から50年以上の歴史と共に、医療・介護・保育サービス等、人々の生活に関わりの深い分野で事業を幅広く展開しています。保育サービスでは、全国に300か所以上の保育関連施設を展開し、神奈川県では13か所の保育施設を運営しています。遊びや学びを通して、子どもたちが「やさしく、つよく生き抜く力」を培うよう、系列園全園で統一したサービスを提供しています。

●ニチキッズ湘南鵠沼保育園は、小田急江ノ島線「本鵠沼駅」より、徒歩8分程の住宅街の一角に位置しています。園周辺には広々とした公園（まちかど、長久保、矢部）や親水広場があり、子どもたちの散歩コースになっています。また、湘南の海へも出かけられ、晴れた日には富士山が見られます。正に、波の音、潮の香りを感じられる保育園です。

●ニチキッズ湘南鵠沼保育園の定員は64名、0歳～5歳児までの保育を実施し、現在71名の園児が在園しています。保育理念「おもいっきり遊ぶ おもいっきり学ぶ」をテーマに、遊びから学べるようなカリキュラムを取り入れ、遊びから始まる様々な活動を通して『自分』というカラーを見つけられるような保育を目指しています。

◇特長や今後期待される点

1. 【STEAM保育の推進】

ニチキッズ湘南鵠沼保育園（以下、当園という。）の特徴的な保育の取組として、リトミック、英語、おもいっきり給食、STEAM保育を掲げています。中でもSTEAM保育は、子どもたちの「自ら考えや思いを持ち、表現し、やってみようとする原動力」を育むことを目的にした教育プログラムです。STEAM（Science、Technology、Engineering、Art、Mathematics）は、5つの要素の頭文字を組み合わせた造語であり、文部科学省でも推進が図られ、AI等の技術革新の時代に生まれた教育手法の1つです。職員は、法人の研修を受けると共に、保育実践の中で、子どもたち自身で考え、課題を解決して行けるよう環境を整えています。常に子どもたちの意見を尊重し、自分たちで話し合っ取組めるようにサポートしています。調査日には、廊下の壁に5歳児が作った新聞「人気の献立」が貼りだされていました。子どもたちで手分けし、全クラス（0歳児は保育士）へのインタビュー、結果をまとめ、絵と文字で表現し模造紙に割り付けを考えて作っていました。子どもたちは、自分たちで作りあげたという達成感が得られ、こうした活動がSTEAM保育につながっています。

2. 【個性を尊重した保育】

当園の特徴の1つでもあるSTEAM保育を基本に、一人ひとりの子どもの発達段階を見

極め、個人差を十分に把握し、子どもを尊重した保育を行っています。保育目標（すくすく育つ・わくわく遊ぶ・いきいき過ごす）を毎日の活動に反映させ、子どもの状況に応じて保育ができるように体制を整えています。0歳～2歳児までは各部屋が仕切られ、保育士との関わりを密に、子どもたちが安心して過ごせるよう努めています。3歳～5歳児はホールで過ごし、その日の活動により、部屋を仕切ってクラス活動を行っています。職員同士のコミュニケーションが良く取れていて、互いに声を出し合って連絡・確認しています。STEAM保育の目的の1つに「誰かのために、誰かを喜ばせる」があり、子どもたちで「お店屋さんごっこ」に取組み、4歳児の活動では、保護者やお友だちを呼び、「レストラン」で楽しんでもらいたいとの思いで、各自の発想によるメニュー作りを取組んでいました。目的に向かって取組む生き生きとした子どもの姿が印象的でした。今回の利用者（保護者）アンケートにも、「子どもの意思を尊重している」・「個性を大事にしている」・「先生方が明るく雰囲気が良い」等々の意見が多く寄せられ、保育に対する満足の高さが窺えます。

3. 【おもいっきり給食の推進】

ニチキッズの給食は、三大アレルギー原因食材「卵・乳・小麦」を使わない献立を導入し、アレルギーのある子どもみんな仲良く同じ給食を食べる「おもいっきり給食」を行っています。当園では栄養士・調理員が毎日のメニューに合わせ、見た目も楽しく、美味しく食べられるように工夫しています。アレルギー児も皆と同じテーブルで食事を楽しんでいます。但し、職員は、アレルギー児への提供はマニュアルに則り、徹底した確認の下で行っています。年間食育計画では、年齢に応じた食育活動を行い、季節の食材に触れさせると共に、体験を通して「食」への興味・関心につなげています。こうした毎月の食育活動の様子は、ブログを通して確認できます。その中でも「ところてん作り」は本格的です。乾燥した天草に触れて匂いを嗅ぎ、水に浸して変化を感じ、煮詰めたものを自分たちで筒から押し出す「ところてん作り」を体験し、味付け（蜜・三杯酢・きなこ）も好みに合わせて選び、嬉しそうに食べていました。調査日は、廃棄食材の食育活動として、小松菜の根を土に植えた後でした。季節野菜の栽培が終わった後は、土の中で枯れた植物の根等を取り除いてきれいにし、肥料を混ぜて再利用できる過程も「土へのお礼」として体験させています。子どもたちは「おもいっきり給食」の様々な活動を通し、「おもいっきり学ぶ」につながっています。

4. 【人材育成・定着への取組み】

当園の運営課題に「人材育成と定着」を掲げています。人材採用については、法人で採用して充当する仕組みになっています。園長は、日々、職員とのコミュニケーションを図り、気持ち良く楽しく働けるよう職場環境作りに努めています。職員の家庭環境に応じた働き方ができるシフトを取り入れる等、ワーク・ライフ・バランスに配慮した取組みも行っています。当園は開設から5年目で、ほとんどの保育士が継続して在籍し、チームワークが良く、笑顔が溢れ、明るく元気な印象です。園長は、慣れ合いにならないよう気を付けると共に、各職員のスキルアップが図れて、園全体の保育の質が高まるように研修（社内、園内）の充実を目指しています。法人の中・長期的なビジョン「VIPRO」の取組み方針である「～子ども、保護者、職員から選ばれる園～」に合った計画を策定し、目標の達成に向けて計画的な事業実施に期待されます。

⑦第三者評価結果に対する施設・事業所のコメント

施設名 ニチキッズ湘南鵜沼保育園

《第三者評価を受審した感想・自己評価での取組の感想》

初めての第三者評価と言うことで、職員一同緊張してしまいました。
職員がグループに分かれて、自己評価について話し合いを行う中で、職員一人ひとりが評価項目と向き合い、しっかりと話し合いを行うことができました。
難しい項目もありましたが、みんなで話し合うことで、職員全員で日々の保育を振り返ることができ、とても良い経験となりました。

評価日を迎え、二日にわたり、すり合わせを行っていただきましたが、評価調査者の方がしっかりと園について下調べをしてくださっており、評価についてもそれを基に園の評価とすり合わせを行い、結果、高い評価を付けてくださいました。

この評価は、職員たちが日々安心・安全な保育を行っていることの証となり、これからの保育に自信を持てる結果となりました。

この評価を基に、これからも職員一同、自己研鑽を怠らず、精進していきたいと思えます。

ありがとうございました。

《評価後取組んだ事として》

1. 地域の福祉ニーズを把握し公益的な活動に取り組む体制を整える。
2. 小学校との連携、関係機関との連携の強化。
3. 子どもたちと共に、おもいっきりあそび、おもいっきりまなぶ事。

⑧第三者評価結果

別紙2のとおり